

現在、BABOKに関心を持っておられる方は、IT企業関係者が圧倒的に多いようですが、本来は、企業が自社の経営／事業目標を達成するための「仕組み」を検討する役割を担っておられる方々（例えば、経営／事業企画部門の方々）に、もっともっと活用していただきたい知識体系と思っています。

企業の経営／事業目標を達成するための「仕組み」を検討する役割の方々が、BABOKの知識を活用することによって、IT活用一つとってみても、欧米に比べ費用対効果において、遅れを取っているとされる事態を画期的に改善できるとしています。

ところで、IIBAの認定試験(CCBA 更にはCBAP)を受験する事の最大のメリットは、何と言っても、受験を契機としてBABOKを良く読み込むことにあると思います。昨年末CCBAの試験が日本語で受けられるようになったのは、たいへんありがたい事で、早速、第一回CCBAの試験(2011/11/26実施)を受験しました。

企業の経営／事業目標を達成するための「仕組み」を検討する役割の方々に、是非CCBA試験受験を検討していただきたいと言う願いを込めて、少し詳細な体験記をまとめてみました。

(受験準備)

英語で業務経歴など、Webから受験申し込みが必要があったり、出願料とは別に支払う必要の受験料はクレジットカードでは支払えず、IIBA本部(北米)に郵送する必要があったり、問題もあり、トラブルも予想されるので、受験の4~5ヶ月前にスタートするのが良いのではないのでしょうか。

具体的には、IIBAが認定する教育機関(EEP(Endorsed Education Providers))が提供する受験対策講座を受講することから開始するのが良いと思います。私は、受験5ヶ月前の2011年7月中頃開催された(株)富士ゼロックス総合教育研究所(FXLI)のCCBA受験対策講座を受講しました。

受験対策講座では、

- (1) 講師(合格経験者)の体験から、BABOKの誤読／誤解しやすい箇所の指摘、
- (2) 模擬問題による自己の弱点の発見が期待でき、
- (3) 受験申請の方法について情報がえられます。

受験対策講座受講前に、BABOKを1回通読していれば、研修を有効に活かすことができますが、通読しているか、していないかより、受験対策講座を受講する事によって、受験する覚悟が出来る事が重要だと思います。私の場合は、受験対策講座の受講で、初めて受験準備のスタートを切りました。受験申し込みは、受験対策講座で教えていただいた通りにIIBAのWebから7月19日に行いました。

(受験勉強について)

CCBAのように基準書があって、その内容の理解を問う試験の場合には、出題者は当然のことながら、正解の根拠を原典の記述に求めて出題するはずで、従って、原典であるBABOK v2.0をひたすら読み込むことが最良の勉強法であると思います。本来なら、BABOKの全体を3回読むのがベストであると思います。

- (1) 第1回目は、BABOKに、一体どんなことが扱われているのかどうかを読み取ることで良いと思います。疑問点のあるところは、印をつけて、どんどん先へ読み進み、一気に、とにかく全体を端から端まで読むのが良いと思います(俯瞰する「鳥の目」を持つ読み方と言えます)。
- (2) 第2回目は、BABOKの個々の記述と、全体との関係など注意しながら読む(関連した記述を読み取る魚眼レンズ的「魚の目」と、細部を注意深く読む複眼的「虫の目」の読み方と言えます)。要点

や、覚えにくい点について、メモを作りながら読むのが良いと思います。私が実施したメモの概要は後で述べます。

(3) 第3回目は、試験日直前の1週間程度に、確認のため全体を通読する。

ところで、上記はあるべき姿を記述したものです。私の場合は、受験前の5ヶ月は、仕事で、多忙を極め、上記の(2)と、試験直前には、(2)で作成したメモをひたすら覚える事しかできませんでした。このため、本文の末尾に記述するように、大苦戦を強いられました。

(受験勉強で作成したメモ類)

上記に記述した、第2回目のBABOK通読の際に、私が作成したメモは、下記です。

(a)「魚の目」的メモ

(i)タスクの入出力の関係を表したデータフロー図

(データフロー図はBABOK v2.0の9.5節に記述されています)

(ii)各タスクで関与するステークホルダーの種類と役割の表

(iii)各タスクで使用するテクニックの表

(b)「虫の目」的メモ

間違え易く、覚えにくい箇所の単語カード作成

以上のメモのうち、(a)の(i)~(iii)はいろいろな方が作成していると思いますが、他人の作った資料をひたすら覚えるのは、あまり勉強方法としては望ましくないと思います。目的は記憶する事ですから、作業効率を求めるではなく、「書いて覚える」効果を期待することが重要と思います。

上記のメモのうち、要点のみ下記に記述します。

・タスクのデータフロー図作成については、注意が必要です。

BABOKには、「「タスクを実行する順序に制約はない。」とか、「本書(BABOK)はビジネスアナリシスを遂行するための方法論でもない。(BABOK v2.0の1.4)」と言う記述がある通り、厳密なデータフロー図を作ることはできません。しかし、知識が「入力から出力を得る」タスク毎に記述されているので、データフロー図的捉えかたは重要です。私の場合、「タスクのデータフロー図」を確り覚える時間が取れなかったので試験で大苦戦をしました。

なお、データフロー図の外に、「要求」についての状態遷移図(状態遷移図はBABOK v2.0の9.29節に記述されています)を作ろうと思いましたが、不可能であることは、直ぐに分りました。要求の体系化、モデリングを推奨しているBABOKが、このようなスタンスで記述されている事には、なんらかの理由があるのでしょうか、その理由は良く分かりません。この種の認定試験では、このようなことを気にしても時間の無駄であり、議論するのであれば、受験とは分けて議論する事が重要であると割り切り、ひたすら記述の記憶に努めました。

・「ステークホルダーの種類と役割の表」は、複数の試験問題として出題されたので、非常に役に立ちました。

・「各タスクで使用するテクニックの表」は、「ステークホルダーの種類と役割の表」ほど有効ではありませんでしたが、この件についての出題は、当然のことながら何問か出題されました。

・覚えにくい箇所の単語カードについては、愛用の「スクール&キャンパス(株)レイメイ藤井の単語カード111SHEETシリーズ(幅広サイズ90 x 54 x 25mm)」を使用し、1冊(100枚)分作成しました。

例としては、例えば表面に、「7.3 組織の準備状況をアセスメントする」アセスメントする要素はなにか?」と書き、裏面に「7.3.4.1~7.3.4.3のキーワード」を書くといった類です。

(受験当日)

(a) 受験直前

試験場入場前の待合室では、ひたすら、単語カード100枚を再チェックしました。話し好きの人が話しかけてきましたが、不義理になることを承知で無視して、ひたすら記憶に集中しました。

試験場には、時計、筆記用具（貸与されたもののみ使用可）、飲み物、フード付きの上着など、持ち込めないと、入室直前に聞かされてちょっと面食らいました。特に飲み物については、打撃を受けた人がおられたのではないかと思います。飲み物の持ち込み不可は今後も継続されるのかどうかは分かりません。

(b) 受験

準備不足を意識していた、データフロー図的な知識を問う設問が、冒頭に多く、意気消沈しました。もう少し、毛色の違った問題を混ぜて、出題してくれれば、元気が出るのにななどと思いつつ、我慢して取り組みました。日本語の問題文については、いろいろな意見があるようですが、併記されている英文を読み直すようなところは、全く無く、良い文章になっていたと思います。試験問題と言う状況下で、十分な査読が出来なかったであろう事を考え合わせると、翻訳は非常に良かったと思っています。

150問全問解答後に全問を1回見直したところで、ほぼ3時間半の終了時間になりました。首を上げて、周りを見回したところ、全受験者の1/3以下しか残っていませんでした。見直しで、随分、誤りを修正しました。見直しはお勧めします。

ところで、確信が持てる解答が少なかったため、試験終了後は不合格の感触で、あまり良い気分で試験場をあとにすることができませんでした。

(結果発表まで)

いままでの受験経験で、確信が持てる解答が少ない場合は、不合格であることがほとんどなので、今回は不合格であると覚悟しました。結果がたいへん気になっていたのでしょうか、試験に失敗した夢を覚えているだけでも2回みました。

(大苦戦の原因)

今回の受験では、受験の直前に、他に緊急の仕事が入るなどして、受験勉強に当てる時間がほとんど取れなかったため、上記に記述した、BABOKを3回読むことが実行できず、まともな通読は1回きりになってしまいました（上記に記述した第2回目の通読相当）。更に、作成したメモのうち、データフロー図を徹底的に頭に入れることができなかった事につきると思います。今でも、合格が信じられない気分です。おそらく、ボーダーラインすれすれだったような気がします。しかし、上記の(受験勉強について)の項に記述させていただいた事を忠実に実践されれば、確実に合格できる事を自信を持ってお勧めできます。

(最後のお勧め)

繰り返しになりますが、企業の経営/事業目標を達成するための「仕組み」を検討する役割の方々に、是非CCBA試験受験を検討していただきたいと思います。私は、ある企業で、経営/事業企画の仕事をした経験がありますが、もし、今その立場にあったとしたら、同僚や部下には、絶対にBABOKを活用することを勧めます。そして、BABOKを深読み手段の一つとして、CCBA（日本語化が実施されればCBAP）試験の受験を勧めます。